

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 6 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	35	火災を想定した消防訓練は年2回、消防計画を基に実施出来ているが、自主訓練までは実施出来ていない。火災以外の災害(自然災害)については、既存のマニュアルでは内容もまだまだ不十分であり、自然災害を想定した訓練等も未実施である。	消防自主訓練の実施。火災以外の災害に備え、地域の実情に即した自然災害マニュアルを整備し、定期的な自然災害訓練を実施することが出来る。訓練実施後は報告書をきちんと整備することで、次回の訓練及び実際の避難の際に活かすことが出来る。	地域の実情に即した自然災害マニュアルの作成と、それに基づき、定期的に自然災害訓練を実施する。消防自主訓練も含め、訓練実施後は、反省点・改善点等、記録に残す。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期のあり方については「指針」があり、契約時に御本人・御家族へ説明・同意を得ているが、開設からこれまでに事例がなく、また職員への研修を実施したこともないため、看取り介護を行うにあたり職員の中にも不安がある。	終末期ケアや看取りについての外部研修及び内部研修を行うことで、職員の精神的不安を取り除くことができ、看取り介護を行う体制と準備を整えることが出来る。	終末期ケア及び看取り介護についての外部研修参加。また法人内において経験の豊富な看護師等に講師依頼し、内部研修を実施することで、職員の不安軽減及び体制づくりに努めていく。	6ヶ月
3	20	島内遠方から入居された方に対して、御家族への電話、手紙等の支援は行なっているが、馴染みの人や場所等との関係継続の支援は不足している。	御本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないような支援が実施できる。	移動距離や体調を考えると、遠方までの外出は困難であるため、御家族にもご協力いただき、家族写真や親戚の写真を郵送していただいたり、馴染みの場所や地域の写真などを居室に飾る等の支援をしていきたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月